



全議案を賛成多数で可決した第55回通常評議員会＝18日、M&Dホール

第55回通常評議員会

医療守る運動の先頭に立つ

「保険で良い歯科」発展へ決議

協会は18日、第55回通常評議員会をM&Dホールで開き、▽2017・18年度活動まとめ▽19・20年度活動方針▽18年度決算▽19年度予算▽理事・監事の選出――などの議案を可決。①社会保障削減を許さず、「保険で良い歯科医療」を発展させる②憲法を守り、生かし改憲を許さない――とする両決議案を採択した。平川光彦氏が議長を、張村善紀・南端理伸両氏が副議長を務めた。

いる「保険で良い歯科」署名に広く協力を呼びかけたい」と訴えた。

あいさつに立った小澤力理事長は、「医療・福祉、国民のくらしはますます厳しい状況に追い込まれている。協会は国民の受療権と会員の経営、権利を守るために全力を尽くす。次期改定に向け、5月から取り組んで

進められるなか、協会は社会保障制度を充実・発展させ、会員の経営・権利、憲法と平和、民主主義を守ることを柱に運動に取り組んできた」と協会活動を総括。活動方針では、▽会員の権利と経

営を守る運動▽社会保障制度を守り、拡充する運動▽住民本位の暮らし、いのち、健康を守り、発展させる活動▽憲法と平和・民主主義を守る活動▽会員が頼れる大きな協会をつくり――の5つの柱を示した。



協会は、第55回通常評議員会で2019年・2020年度の理事・監事を選出したことを受け、同日夜に第3回理事会を開き、理事長に小澤力氏(66)を再任した。小澤理事長は、5期目となる。副理事長は第4回理事会で選出、決定する予定。

理事長に小澤力氏

第3回理事会

原稔氏・北大阪地区――の発言があり、小澤理事長が答弁した。

2号議案(18年度決算報告案、監査報告)、3号議案(19年度予算案)を三井泰正副理事長が報告。施設基準に係る研修会を理由とした入会が相

次ぎ、入会金、会費収入が目標を超過達成したことなどを紹介した。

4号議案(理事、監事の選出)を戸井逸美副理事長が提案した。

各議案はそれぞれ賛成多数で可決。最後に決議案を採択した。

医療法改定の歴史と医療費削減政策

佛敎大学社会福祉学部敎授・横山壽一

政府は社会保障の持続可能性を大義名分に、医療費削減を推進してきた。歴代政府が取り組んできた医療費削減政策は医療法改正どのように制度化されてきたのか、横山壽一佛敎大学敎授に解説いただいた(全3回)。

医療費削減政策が本格化するのには、臨調行革の時期、具体的には1980年以降である。「増税なき財政再建」を掲げ、歳出削減に大ナタを振るう第二臨調(第二次臨時行政調査会、以下「臨調」)が、本格的な医療費削減へと動き出す。臨調第二次答申(82年)を

受けて同年には厚労省に「医療費適正化対策総合推進本部」が設置され、医療費削減政策が具体化されていった。最初に手を付けられたのが、老人医療制度の改悪だ。無料化が医療費増大を招いているとして無料化を廃止(老人保健法の制定、83年)、次いで、医療保険

提供体制再編で医療費削減を目論む

医療提供体制、つまりは医療供給の側からも医療費削減を進めようとするれば、医療法改正が必要であった。

この改正に踏み出したのが、86年の第一次医療法改正である。以後、医療法改正は現在までに、第二次(96年)、第三次(97年)、第四次(2000年)、第五次(06年)、第六次(14年)と改正を重ねてきた。第一次改正以降、医療法は、単に従来の医療施設の基準を定める法律ではなく、政府の医療政策を進めるための医療施設再編、具体的には、病床削減、医療機能の分化等による「効率的な」医療提

供体制の確立という名の医療提供体制の削減のため法律へと性格を大きく変えていくことになった。そして、医療法改正の内容を裏書きするため診察報酬改定と一体となつて、政策誘導の役割を果たすことになる。

これまでの六次にわたる医療法改正は、医療保険制度など医療費削減政策との関連も踏まえる

医療法改定の歴史

1948年	医療法制定 老人保健法制定(83年) 窓口負担1割(84年)
1986年	第一次改定
1996年	第二次改定
1997年	第三次改定
2000年	第四次改定
2006年	第五次改定
2014年	第六次改定

協会直通番号のご案内

保険請求のご相談や年金・休業保障制度のお問い合わせは直通番号をご利用ください。

社保研究部 06-6568-7467
共済部 06-6568-7438

歯界

梅干しと鰻はお腹を壊すから一緒に食べるとはいいない。

昔からよく言われてきた食べ合わせのタブー。最近では聞かなくなった。その多くが迷信であり、科学的根拠が無いことが知られるようになったからだろう。

食べ合わせのタブーは民間伝承的に広まった流言だが、科学が否定しなければ確かに信じてしまいうさだ。人間は元来デマに騙されやすい。現代社会は、インターネットを介して様々な情報が飛び交い、何が真実かわかりにくいからなお一層注意が必要だ。特に政治においては意図的にフェイクニュースを発信する輩がいるからたちが悪い。

高度な情報社会を生きている我々は、洪水のようにあふれる情報の中から正しい情報を選択していくことが求められている。

ちなみに梅干しと牛乳を一緒に摂取すると消化不良を引き起こすそうぞうだ。嘘である。

デマに振り回されないためには、情報の真偽を疑い、地道に調べ、学んでいくことだろう。(S)